

平成29年度

久留米市文化財専門委員会



- ◆ 日時 平成29年7月3日(月) 10:00～
- ◆ 会場 久留米市役所 1301会議室

市民文化部文化財保護課

平成29年度 久留米市文化財専門委員会

日時：平成29年7月3日(月) 10:00～

会場：久留米市役所1301会議室

次 第

- 1 開会のことば
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長挨拶
- 4 仮議長選任
- 5 会長・副会長選任
- 6 新会長・副会長挨拶
- 7 部会長選任
 - ・ 史跡部会（1301会議室）
 - ・ 名勝天然記念物部会（304会議室）
 - ・ 有形文化財部会（304会議室）
 - ・ 無形文化財及び民俗文化財部会（1301会議室）
- 8 平成29年度 配属職員の紹介
- 9 平成28年度久留米市文化財専門委員会議事録確認
- 10 報 告
 - (1) 平成28年度の事業報告 …… 1
 - (2) 平成29年度の事業概要 …… 40
 - (3) 次年度以降の諮問予定文化財 …… 50
 - (4) その他
- 11 閉会のことば

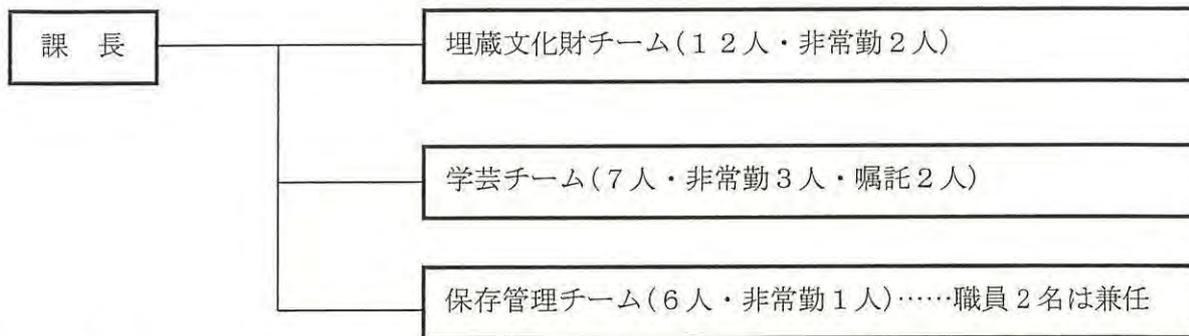
久留米市文化財専門委員会委員名簿(平成29年6月1日～平成31年5月31日)

部会	専門		氏名	所属
史跡	考古		にしなに だし 西谷 正	海の道むなたか館館長
	考古		きのした なおこ 木下 尚子	国立大学法人熊本大学文学部教授
	考古		よこやま くにつぐ 横山 邦繼	学識経験者(元福岡市職員)
	古代史		しげまつ としひこ 重松 敏彦	太宰府市総務部文書情報課
名勝 天然記念物	天然記念物 植物		はしかわ ひろみ 橋川 ひろみ	福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター
	天然記念物 植物		なかみぞ なおみ 中溝 直美	荒木中学校教諭
	天然記念物 生物		たかやま よしこ 高山 美子	学識経験者(元北野町文化財専門委員)
	名勝庭園		ながまつ よしひろ 永松 義博	学識経験者(南九州大学名誉教授)
有形文化財	歴史資料 古文書		うちやま かずゆき 内山 一幸	関西学院大学教育学部助教
	美術工芸		もりやま ひでこ 森山 秀子	久留米市美術館副館長
	絵画		こばやし のりこ 小林 法子	福岡県文化財保護審議会委員
	建造物		おおもり ようこ 大森 洋子	学校法人久留米工業大学工学部 建築・設備工学科教授
無形文化財 及び 民俗文化財	民俗		だんじょう たつお 段上 達雄	学校法人別府大学文学部教授
	無形染物		とりまる きだえ 鳥丸 貞恵	学識経験者(元大阪芸術大学通信教育部教授)
	民俗		えしま まさみつ 江島 政光	学識経験者
	民俗		みやざき しんじ 宮崎 伸二	福岡県文化財保護指導委員

10 報告（1） 平成28年度の事業報告

I. 組織と業務概要

1. 組織



2. 事務分掌

- (1) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (2) 文化財の指定及び管理に関すること。
- (3) 文化財専門委員会に関すること。
- (4) 文化財関係団体に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関すること。
- (6) 収蔵館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (7) 文化財収蔵資料審議会に関すること。
- (8) 収蔵館の維持管理に関すること。
- (9) 博物館の建設準備検討に関すること。
- (10) 歴史公園に関すること。
- (11) 坂本繁二郎生家に関すること。
- (12) 埋蔵文化財センターに関すること。

3. 業務概要

国民の共有財産である文化財を保存・保護するとともに、それぞれの文化財の特性を活かした積極的な活用を図る。市民が歴史や伝統を身近に感じ、親しみ、暮らしに生かす機会を提供し、市民の郷土愛を醸成するとともに、魅力あふれる歴史環境の未来への継承に努めた。

また、「公益財団法人久留米絣技術保存会」、「公益財団法人有馬記念館保存会」を所管し、運営を行った。

(1) 文化財を守り伝える

- ① 埋蔵文化財発掘調査の効率化や迅速化・標準化など円滑な実施に努め、開発と文化財保護の調整を図るとともに、現地説明会などの開催を通じて情報の提供を進め、市民の理解と協力を得ることに努めた。
- ② 埋蔵文化財センターを拠点として、埋蔵文化財の整理・保存と調査・研究を行うとともに、埋蔵文化財資料の生涯学習・教育活動における効果的な活用を図った。
- ③ 有形、無形、民俗その他の文化財の積極的な調査と保存・活用に努めるとともに、総合的な記録

の整理と活用に取り組んだ。

(2) 文化財に親しむ

- ① 文化財保護に関する市民意識の高揚を図るため、文化財の周知と啓発に努めた。
- ② 生涯学習振興の観点から、企画展や歴史探訪の開催、出前講座や体験学習など、地域に根ざした文化財を学び、親しむ機会の充実に努めた。
- ③ 市民の文化財保護活動の充実、促進を図るため、文化財保存事業及び文化財保護団体等への活動支援を行うとともに、文化財を活用した地域密着観光など、市民との協働のまちづくりを進めた。
- ④ 市民が文化財に親しみ、理解することができるよう説明板等の整備や文化財マップの作成に取り組んだ。
- ⑤ 生涯学習施設としての「歴史博物館」について、資料の収集・調査に努める一方で、これまでの経緯を十分に踏まえ、今後のあり方の検討に着手した。また、企画展等を開催するとともに、市民からの問い合わせや資料貸出しを行う等、収集した資料の有効活用を図った。

(3) 文化財を暮らしに生かす

- ① 筑後国府跡、高良山神籠石などの史跡の保存・保護を図りながら環境整備を進めるとともに、市民の地域学習や歴史学習、小中学校の野外学習やレクリエーション、交流の場としての活用を促進した。
- ② 市内に現存する歴史的建造物などを中心に調査し、貴重な物件は歴史的文化遺産として指定、保存等を行い、必要に応じた修理・復元を行いながら、市民の暮らしの中で地域学習や生涯学習など多くの場面でその活用を図った。

◎主な事業の概要

事業名	事業概要	予算額（千円）	
		29年度	28年度
発掘調査事業	開発に際し、埋蔵文化財の現状保存ができないと判断した場合は、記録のため発掘調査を行った。同時に、わが国及び久留米地域の歴史・文化等への理解を促し、市民の郷土愛の醸成を目指し、その成果を公表した。	計 114,025	計 108,965
埋蔵文化財センター事業	発掘調査に伴う出土品や記録類を集中管理し、調査研究するとともに、市民の多様な文化的活動の展開を支援するため、展示会や体験学習、学校教育の「総合的な学習の時間」などへの事業を実施した。	計 1,710	計 3,015
観光拠点整備事業 (有馬記念館運営補助)	有馬記念館の収蔵資料を保存・活用して、久留米の江戸時代や郷土の歴史に関する情報の公開展示を行い、久留米城跡等歴史文化施設とともに広くPRして観光拠点として集客を促進した。	計 8,997	計 11,008
歴史博物館整備検討事業	これまで寄贈・寄託された資料を六ツ門図書館展示コーナーなどの文化・観光施設において積極的に活用し、定期的な展示会を開催するとともに、博物館整備について、これまでの経緯を十分に踏まえ、今後のあり方の検討に着手した。	計 9,032	計 11,598
筑後国府跡 歴史公園整備事業	史跡筑後国府跡は、律令制における古代都市で、久留米の都市づくりの原点といえる。史跡の整備により、市民が歴史を学び、楽しく活用し、交流人口の増加を目指す。住宅地に緑あふれる歴史公園を創出することにより、魅力あるまちづくりを推進し、定住促進を図っていく。	計 57,423	計 31,978
歴史ルートづくり 事業	地域の歴史をテーマにしたストーリーに基づき、エリア内の歴史遺産を整理することにより文化財の保護と活用を図るため、歴史遺産活用の拠点として史跡や歴史公園等の施設管理や、エリア内の環境整備を進めた。	計 15,755	計 31,409
歴史的建造物保存 整備事業	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存・整備・活用を図り、市民が身近な場所で歴史を感じながら暮らすことのできるまちづくりを推進した。	計 7,293	計 3,654
史跡等環境整備事業	市民が歴史に親しみながら憩う場として、地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、まちづくりの素材としても多くの場面での活用を図った。	計 3,733	計 2,980

坂本繁二郎生家 活用事業	久留米城下町に唯一残る武家屋敷である坂本繁二郎の生家（市指定文化財）を保存・活用し、後世へ伝えるための展示会等を実施した。また、重要な地域資源としてPRし、貸室の新規利用者の獲得や他団体主催イベントの会場やコースに利用するなど、多方面で活用することが出来た。	計 452	計 294
文化財保護団体等 育成事業	絵画や典籍および彫刻などの有形文化財や、祭りなどの無形文化財の管理および普及活動を行っている団体に対して補助金を交付し、文化財の保護を図った。	計 1,222	計 1,389
文化財施設維持補修 事業 *29年度新規事業	文化財収蔵館や埋蔵文化センター等、収蔵資料の保存及び活用施設の適切な維持管理のため、必要な改修または補修を実施することで文化財の活用を図る。	計 42,847	—
歴史資料収集活用事 業	郷土に関わる歴史資料を収集し、資料の散逸を防ぐとともに、収集資料を公開するための特別展を開催する。	計 85,980	—

II. 文化財の指定

本年度は、(公財)石橋財団所蔵の国指定有形文化財の絵画 5 点・工芸品 1 点・書跡 1 点が東京都に移管され、指定解除となった。また、久留米市有形文化財(古文書)として「小川区有中世文書 19 点 附小川鏡御影覚附並大友家文書 1 点」が指定された。そのため、久留米市内の指定文化財は、国指定文化財 32 件、県指定文化財 43 件、市指定文化財 104 件、国登録文化財 5 件である。

久留米市内の指定文化財一覧表

指定別	総数	有形文化財										無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	選定技術保存	登録文化財
		総数	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料								
総数	179	81	21	11	18	9	2	0	8	9	3	2	31	10	23	1	26	0	5
国	32	20	2	3	4	2	2	0	0	0	0	1	0	1	9	0	3	0	5
県	43	22	8	3	3	3	0	0	2	3	0	1	5	2	6	0	7	0	0
市	104	46	11	5	11	4	0	0	6	6	3	0	26	7	8	1	16	0	0

(平成 29 年 3 月 31 日) ※史跡と天然記念物に二重指定されている「目安町の一里塚」は史跡に含んでいる。

1. 小川区有中世文書 19 点 附「小川鏡御影覚附並大友家文書」 1 点

指定年月日 平成 29 年 2 月 13 日

所在の場所 福岡県久留米市諏訪野町 1830-6

所有者の氏名または名称および住所 小川区 代表者 小川区長 怡土 廣敏

時代 中世

区分 有形文化財(古文書)

伝来その他参考となるべき事項

文書はいずれも、表装等が施されず、作成当時のままの状態で作来し、文書にみえる人名や地名等から、筑後国内での文書のやりとりが窺え、地域支配システムを復元できる可能性を有する。

久留米市内に伝来してきた数少ない中世文書であり、久留米市の戦国時代を語る貴重な古文書として指定された。

Ⅲ. 埋蔵文化財調査事業の概要

1. 埋蔵文化財事前確認

28年度の窓口受付件数は650件。内訳は対象外454件、要調査196件である。要調査のうち、設計変更や協議によって調整を図り、工事立会もしくは慎重工事での対応が141件で、発掘調査に至ったのは24件であった。

なお、26年度の8月より、GISを活用した窓口での照会件数もカウントしているが、1日平均で18件程度の問い合わせがある。

「埋蔵文化財包蔵の有無について」の照会件数の推移

年度	受付件数	対象外	要調査	要調査のうち		
				保存調整	発掘調査	未調査
24年度	516件	351件	165件	115	50	0
25年度	623件	481件	142件	122	18	2
26年度	534件	395件	139件	123	16	8
27年度	637件	393件	224件	179	16	29
28年度	650件	454件	196件	141	24	31

*保存調整とは工事立会・慎重工事での対応、未調査には売買を含む。

2. 発掘調査

(1) 発掘調査及び整理作業

平成28年度に実施した発掘調査は以下の通りで、24地点で実施した。27年度からの継続調査が1地点、28年度の調査が23地点である。調査原因は公共の市事業2件、民間受託事業9件、個人住宅等の国庫補助事業13件である。

整理作業については、調査事務所において発掘調査報告書刊行の遺跡の出土遺物の作業を中心に実施。主な作業内容は、遺物の洗浄・復元・実測及び報告書刊行分の埋蔵文化財センターへの搬入前の登録作業である。

調査番号	遺跡名	調査期間	調査面積	担当者
201513	久留米城外郭遺跡第23次調査	平成28年2月7日～平成28年7月29日	1,150㎡	江頭
201601	白川遺跡第6次調査	平成28年4月11日～平成28年7月8日	213㎡	西
201602	京隈侍屋敷遺跡第28次調査	平成28年4月11日～平成28年6月16日	265㎡	小川原
201603	京隈侍屋敷遺跡第29次調査	平成28年5月9日～平成28年5月23日	85㎡	熊代
201604	筑後国府跡第285次調査	平成28年6月6日～平成28年7月22日	251㎡	廣木
201605	京隈侍屋敷遺跡第30次調査	平成28年6月30日～平成29年3月16日	854㎡	熊代
201606	十間屋敷遺跡第6次調査	平成28年7月6日～平成28年8月27日	186㎡	西

調査番号	遺跡名	調査期間	調査面積	担当者
201607	白川遺跡第7次調査	平成28年7月25日～平成28年9月5日	155 m ²	小川原
201608	大園遺跡第5次調査	平成28年7月27日～平成28年8月18日	58 m ²	神保
201609	十間屋敷遺跡第7次調査	平成28年8月1日～平成28年8月24日	170 m ²	江頭
201610	へぼノ木遺跡第73次調査	平成28年8月1日～平成28年10月28日	542 m ²	廣木
201611	白川遺跡第8次調査	平成28年9月5日～平成28年10月27日	166 m ²	西
201612	市ノ上北屋敷遺跡第6次調査	平成28年9月12日～平成28年10月13日	120 m ²	江頭
201613	高良山講堂跡第1次調査	平成28年9月13日～平成28年10月21日	200 m ²	神保
201614	高三瀦遺跡第6次調査	平成28年10月24日～平成28年11月4日	100 m ²	江頭
201615	白川遺跡第9次調査	平成28年10月28日～平成28年12月7日	231 m ²	西
201616	筑後国府跡第286次調査	平成28年11月1日～平成28年12月9日	396 m ²	小川原
201617	白川遺跡第10次調査	平成28年11月15日～平成28年11月28日	88 m ²	江頭
201618	白川遺跡第11次調査	平成28年11月21日～平成28年12月7日	83 m ²	西
201619	十間屋敷遺跡第8次調査	平成28年12月19日～平成29年2月9日	200 m ²	江頭
201620	筑後国府跡第287次調査	平成29年1月10日～平成29年2月21日	171 m ²	廣木
201621	白川遺跡第12次調査	平成29年1月16日～平成29年1月27日	93 m ²	西
201622	白川遺跡第13次調査	平成29年1月27日～平成29年2月28日	101 m ²	西
201623	筑後国府跡第288次調査	平成29年2月6日～平成29年3月24日	181 m ²	小川原

(2) 今後の課題

課題としては、現地説明会等の普及事業が時間的制約から確保できない。また恒常的な調査員不足から調査・整理作業ともに滞っており、民間支援機関の導入・活用を視野に入れる必要がある。

3. 埋蔵文化財センター事業

(1) 平成 28 年度の概要

平成 28 年度に実施した国庫補助事業の「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」については、平成 27 年度より継続して、筑後国府跡の調査で得られた資料の収納形態及び検索体系を整え、資料の有効な活用・公開を行うことを目的として、再整理を行った。本年度は、第 I 期政庁が存在した古宮地区、大林地区の出土品の再点検作業を実施し、年度末に整理成果を総括した報告書を刊行した。

また、地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業に伴い、上津校区コミュニティセンター談話室を会場として、12 月 5 日～同 22 日の期間、上津校区の歴史を紹介する企画展「上津の歴史展」を開催、地元への調査成果の普及・啓発・還元に努めた。

主な普及活動としては、9 月 10 日（土）～9 月 17 日（土）を期間として「第 4 回からくり儀右衛門大賞小中学生創作作品展」を開催した。また、9 月 24 日（土）～11 月 27 日（日）を期間として、「第 41 回くるめの考古資料展」を開催。今回は「東日本大震災から 5 年『大地に残る地震の爪あと』」と題し、市内に残る地震痕跡を中心とした展示を、六ツ門図書館展示コーナーを主会場として行い、埋蔵文化財センターでは、10 月 15 日（土）～11 月 13 日（日）の期間、関連パネル展示を行った。さらに、みづま祭り会場において「勾玉づくり」を 2 回実施し、体験活動を通じた普及・啓発を行った。

この他、発掘調査および報告書が刊行された遺跡については、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、収蔵している。

(2) 入館者数

平成 28 年度の当センター入館者総数は 1,383 人であった。

入場者数を月別に見ると、11 月が突出して多い。この要因は考古資料展が開催されるためである。特に 11 月 13 日（日）は「えーるピア久留米」を主会場として多くの子どもや保護者が参加する「マナビイランド」が開催され、埋蔵文化財センターもスタンプラリーのチェックポイントの一つとして展示にまつわるクイズに回答しスタンプを受ける方式で参加したことにより、当日だけで 701 名の入場者があった。

平成 28 年度月別入館者推移一覧

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数	69	56	48	43	39	110	116	748	28	20	46	60	1383

(3) 資料活用

①資料貸出

学校や地域、さらには学術研究や印刷物掲載にかかる目的で、資料の貸出申請が 10 件 90 点においてあり、そのすべてを受付後に許可した。ただし、画像の貸出についてはフィルム現物の館外貸出は控えている。これは、写真資料の保存に重点を置くためで、画像はデジタルデータを貸し出すことで理解していただいている。

	期 間	借用申請者	目 的	貸出品名	点数
1	4/1～3/31	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」展示のため	<ul style="list-style-type: none"> ・轟 B 式土器 1 (野口遺跡) ・網籠 1 (正福寺遺跡出土) ・石匙 2 (野口遺跡出土) ・磨製石斧 1 (野口遺跡出土) ・重要美術品 石人頭部 (岩戸山古墳出土 篠山神社蔵) ・家形埴輪 (石人山古墳出土) 	7
2	4/14～4/19	個人	研究のため	<ul style="list-style-type: none"> ・東九州自動車道埋蔵文化財調査報告書第 13 集 1 ・久留米市文化財調査報告書 12 	13
3	10/25～11/1	山川校区郷土研究会	山川校区展示会に使用	<ul style="list-style-type: none"> ・写真パネル 4 (西館古墳奥壁・寺徳古墳奥壁・中原狐塚古墳玄室・下馬場古墳玄室) ・解説パネル 1 (寺徳古墳) ・実測図パネル 2 (寺徳古墳・中原狐塚古墳玄室) ・装飾図パネル 1 (下馬場古墳石室) 	8
4	11/4～1/27	九州歴史資料館	企画展「太宰府の役人と文房具」への出品	<ul style="list-style-type: none"> ・筑後国府跡出土円面硯 1 	1
5	11/11～11/14	あきない祭実行委員会	第 7 回あきない祭「問屋街歴史館」展示のため	<ul style="list-style-type: none"> ・城下町遺跡出土品一式 	39
6	11/11～3/24	小郡市教育委員会	平成 28 年度特別展「上岩田遺跡とその時代展～評から郡へ～」にて展示のため	<ul style="list-style-type: none"> ・須恵器蓋 5 (筑後国府跡第 89 次調査出土) ・須恵器杯 4 (筑後国府跡第 89 次調査出土) ・画像データ 3 (筑後国府跡第 210 次調査区全景・筑後国府跡第 89 次調査区東限大溝 SX3856 断面・山川前田遺跡第 1 トレンチ西壁水縄断面写真) 	12
7	11/12～11/13	大刀洗町教育委員会	「たちあらいドリームまつり」に展示	<ul style="list-style-type: none"> ・北野町文化財調査報告書第 2 集 1 (古賀ノ上遺跡土層断面 2) 	1

8	2/20～3/1	個人	史・資料収集のため	・鳥栖市文化財調査報告書 2 (惣楽遺跡・立石遺跡) ・肥前国風土記の世界 1 (佐賀県立博物館) ・大和町文化財調査報告書 4 (久池井六本杉遺跡・北畑遺跡・小川遺跡・大願寺二本松遺跡)	7
9	3/1～3/31	東村山ふるさと歴史館	東村山市八国山たんけんの里展示	・画像データ 1 (正福寺遺跡出土石斧写真)	1
10	2/28	朝倉市教育委員会	秋月展示	・両替町遺跡十字紋平瓦	1
(H29. 3. 31 現在)				合 計	90

②資料の掲載

当センターの収蔵資料を印刷物に掲載する申請が 1 件 7 点提出された。

この申請について全てを許可した。

	申請者	掲載品名	点数	掲載書名・内容
1	九州歴史資料館	筑後国府跡出土 (墨書土器「守館」・イスラム陶器片・軒丸瓦軒平瓦) 直柄付石斧・網籠 (正福寺遺跡出土)	7	「九州歴史資料館展示案内」に掲載 (5000 部)

(H29. 3. 31 現在)

合 計 7

③資料の閲覧

4 件の閲覧申請があり、館内特別閲覧の許可を行なった。

	閲覧者 または 団体名	目 的	日 付	資 料 名
1	個人	資料調査	4 月 28 日	平野遺跡
2	個人	修士論文作成	9 月 26 日～27 日	円筒埴輪等
3	個人	遺物の実例・撮影	10 月 17 日	VOC 銘入り染付 芙蓉手鳳凰文皿
4	個人	ゼミ発表および修士論文作成のため	10 月 26 日	岩竹古墳群 (第 1 次調査) 出土 銅製権

④施設利用

センター内の団体による施設見学・展示案内と解説などは1件であった。

	見学者または団体名	目 的	日付	人数
1	レディース秋桜（北野町）	郷土学習	11月24日	5名
			合 計	5名

（4）埋蔵文化財保存活用整備事業

平成28年度における国庫補助事業「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」として、筑後国府跡の再整理を実施した。また、I期政庁の整理結果の報告書刊行を行った。なお、再整理後のコンテナ数は、次のとおりである。

筑後国府跡（第2次・第39次・第52次・第77次・第85次・第93次・第100次・第101次・第118次・第143次）

・新規1種遺物収納パンコンテナ総数 331箱

（5）図書類

◆寄贈図書

報告書・紀要・図録類：1021冊

◆購入図書

定期購読：『考古学ジャーナル』No.654～665（ニュー・サイエンス社）

『文化財発掘出土情報』通巻407号～418号（㈱ジャパン通信情報センター）

IV. 文化財保存・整備事業

本年度に係る事業は、美術品の修復4件、熊本地震関連修復事業4件、建造物関連事業4件、史跡等の整備に係る事業4件、名勝・天然記念物保存事業2件を実施している。

1. 有形文化財・民俗文化財

(1) 収蔵資料補修事業

①収蔵資料補修事業

平成28年度の収蔵資料補修事業は、坂本繁二郎「山水図」(紙本墨画・掛幅装)、三谷有信「高良山神籠石略図」(紙本墨画・一紙)、三谷有信「高良山真景図」(紙本墨画淡彩・一紙)、三谷有信「筑後国府図」(紙本墨画淡彩・一紙)の4点について実施した。補修はすべて熊本市の富永米山堂へ委託した。

坂本繁二郎「山水図」は、明治42年以降坂本繁二郎生家を所有していた山田家より平成13年に市へ寄贈を受けたもの。糊離れや折れがあった箇所を修復した。

三谷有信「高良山神籠石略図」、「高良山真景図」、「筑後国府図」は郷土史家黒岩萬二郎の旧蔵資料で、平成11年に寄贈を受けたもの。前述の2点は、2点を合わせて、簡易な表装がしてあったため、1点ずつに分けマット装とした。「筑後国府図」は虫損、欠失、折れ等があったため、新しく裏打ちを行い、簡易卷子装とした。

(2) 熊本地震関連修復事業

①法林寺宝篋印塔修復事業

法輪部分が破損したため、その修復と全体的なクリーニングを実施した。事業期間は平成29年1月10日から3月31日までである。

②朝日寺木造不空羅索観音立像修復事業

台座部分が破損したため、その修復を実施した。事業期間は平成28年8月8日から平成29年1月31日までである。

③朝日寺木造神子栄尊坐像修復事業

左肩部分が破損したため、その修復を実施した。事業期間は平成29年1月10日から3月31日までである。

④石垣神社石造鳥居修復事業

笠木部分にずれが生じたため、その修復を実施した。事業期間は平成28年8月5日から10月14日までである。

熊本地震被災状況一覧表

国登録文化財

指定区分	名称	被災状況	対応
	草野歴史資料館（旧草野銀行本店）	瓦の落下。内壁漆喰にひび・浮きが生じる。また、漆喰と柱等が剥離する。屋内化粧梁に浮きが見られる。	現状維持。観光課にて修復事業検討。
	山辺道文化館（旧中野病院診療棟）	内壁にひび、瓦留めにずれが生じる。	現状維持。観光課にて修復事業検討。

福岡県指定文化財

指定区分	名称	被災状況	対応
考古資料	法林寺宝篋印塔	法輪部分が破損	平成28年度修復事業実施。
建造物	上野家住宅御成間	建物にゆがみが生じ、内外面土壁にクラック及び壁士の浮きが発生した。	平成29年度修復事業実施予定。
建造物	高良山御手洗橋石造・高欄付	欄干石材の接続補強のためのモルタルに割れが生じる。	現状維持。
建造物	久留米藩有馬家霊屋	瓊林院（有馬忠頼）霊屋内宮殿の垂木の一部及び野地板の一部が落下。	現状維持。
彫刻	朝日寺木造神子崇尊坐像	左肩部分が破損	平成28年度修復事業実施。

市指定文化財

指定区分	名称	被災状況	対応
建造物	城島天満宮石造鳥居	笠木の継ぎ目にずれが生じる。	現状維持。
建造物	石垣神社石造鳥居	笠木にずれが生じる。	平成28年度修復事業実施。
建造物	大善寺玉垂宮石造鳥居	柱の継ぎ目にずれが生じる。	現状維持。
建造物	大善寺旧庫裡	外壁漆喰にヒビが生じ、内壁が剥落する。	外壁は現状維持。内壁は応急処置。
彫刻	朝日寺木造不空罽索観音立像	観音堂の屋根瓦落下。壁破損。台座の破損。	平成28年度修復事業実施。
彫刻	朝日寺木造聖観音立像	観音堂の屋根瓦落下。壁破損。	現状維持。
彫刻	朝日寺木造十一面観音立像	観音堂の屋根瓦落下。壁破損。	現状維持。

(3) 建造物関連事業

①高良大社本殿・幣殿・拝殿屋根葺き換え事業

事業着手2か年目となる平成28年度は、コケラ葺による屋根工事、拝殿床板等の木工事・補修工事を主体に実施した。平成29年度には箱棟瓦復旧等による屋根工事の仕上げを行い、縁廻りの補修、塗装工事、耐震工事などを行い、平成29年8月31日事業完了予定である。

②寺町歴史的建造物等調査事業

平成25年度より実施している事業で、本格的な調査が実施されていなかった寺院建造物群について、悉皆調査を行っている。その価値を再評価し、将来の指定や観光資源開発を図る。平成28年度は、本泰寺の調査を実施し、17カ寺院の内、11カ寺院の調査を終了した。

③有馬家霊廟調査

平成19年度より霊屋を中心とする建造物の調査を実施し、結果、平成22年3月に5棟の霊屋が県有形文化財に指定された。この指定された5棟の霊屋について調査報告書を刊行した。

④第5分団望楼調査

久留米空襲の際、破壊を免れた第5分団望楼が、老朽化のため取り壊されることとなった。久留米空襲を後世に伝える史蹟として保存協議がなされたが、老朽化が著しく保存は不可能であると判断された。建築時の設計図面等は残されていないため、図化・写真記録による記録保存を実施した。

2. 記念物

(1) 史跡等の整備に係る事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

平成 28 年度については、国司館地区 2 筆の公有化を行った。現在の公有化面積は、32,552.00 m² (実測面積) である。道路等の国、市有地を含めると公有化率は、85.71%となる。国司館地区の未公有化地は残り 1 筆となった。Ⅱ期政庁地区については、宅地が多く、公有化率 70%となっている。

②史跡筑後国府跡保存活用計画策定事業

平成 28 年度から 2 ヶ年の計画で保存活用計画を策定する計画であったが、計画変更を行い、平成 29 年度から 2 ヶ年計画としたため、本年度は事業未着手である。

③史跡下馬場古墳石室内環境調査

東京文化財研究所の協力を得て、保護施設の老朽化による石室内への温湿度の影響、将来の古墳公開のあり方を考えるための基礎データ取得を目的として、石室内の温湿度調査を実施する。石室内に温湿度計を 4 基、石材の表面温度を測る温度計を 8 基、屋外に温湿度計を 1 基設置している。調査期間は、平成 26 年 9 月から平成 30 年 4 月までを予定している。

④高良山神籠石環境整備事業

神籠石の指定地内で、民家と隣接する里道部分について、法面に地滑りが起こる可能性が生じた。このため、史跡活用の安全性を確保するとともに、史跡指定地隣接民家に対する危険性を回避することを目的として、環境整備工事を実施した。本事業は平成 28 年 4 月に着手し、平成 29 年 3 月に完了した。今後、見学ルートとしての活発な活用を目指す。

(2) 名勝・天然記念物保存事業

①県指定天然記念物「善導寺の大クス」再生事業

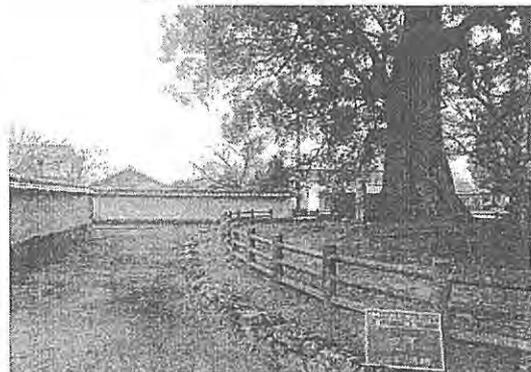
平成 28 年 9 月 2 日未明に幹・枝が折れたため、その撤去作業を行った。作業期間は平成 28 年 10 月 5 日から開始し、11 月 30 日に完了した。原因は幹の腐朽、梢端・枝端の枯損によるものと考えられ、樹勢の回復を図るため再生事業を継続し、平成 32 年度完了を目指す。

②県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

例年 1 月下旬に実施しており、本年度は 1 月 20 日に地元である柳坂自治会、県立筑水高校が剪定作業を行い、文化財保護課が剪定枝の回収及び廃棄を担当した。



善導寺大クス 撤去前



善導寺大クス 撤去後

V. 文化財管理事業

1. 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、文化財保護団体等へ補助金を交付している。平成28年度は、14団体に補助金を交付した。

(1) 文化財保護団体 (10団体)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| ①大善寺玉垂宮鬼夜保存会 | 重要無形民俗文化財「大善寺玉垂宮の鬼夜」管理団体 |
| ②花火動乱蜂保存会 | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体 |
| ③北野天満神社神幸行事保存会 | 県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体 |
| ④草野風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸祭」管理団体 |
| ⑤若宮八幡宮神幸祭実行委員会 | 市指定無形民俗文化財「若宮八幡宮の神幸祭」管理団体 |
| ⑥御井町風流保存会 | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体 |
| ⑦八丁島の御供納 | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体 |
| ⑧満月会保存会 | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体 |
| ⑨高良山同志会 | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体 |
| ⑩柳瀬獅子舞保存会 | 市指定無形民俗文化財「おくんち獅子舞」管理団体 |

(2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体 (4団体)

- ①高良山の緑と史跡を守る会
- ②久留米郷土研究会
- ③山川校区郷土研究会
- ④田主丸郷土会

2. 文化財施設・史跡等管理事業

文化財保護課が所有している施設及び指定史跡を4団体及び個人1名と随意契約にて管理委託し、指定史跡2箇所草刈りについては、指名競争入札により業者に業務委託している。

(1) 指定文化財の管理業務

【個人委託】

- ・大善寺旧庫裡 市指定有形文化財(建造物) 旧庫裡の施錠管理、清掃、点検。個人

【団体委託】

- ・浦山古墳 国指定史跡 保存庫の施錠管理、見学者の対応。成田山久留米分院
- ・高良山神籠石 国指定史跡 高良山神籠石の清掃、見回り点検。高良大社
- ・日輪寺古墳 国指定史跡 保存庫の施錠管理、見学者の対応。日輪寺
- ・目安町の一里塚 市指定史跡天然記念物 市有地の草刈り、清掃。年3回実施 目安町自治会

【業者委託】

- ・筑後国府跡 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年3回実施
- ・安国寺甕棺墓群 国指定史跡 市有地の草刈り、清掃。年3回実施

(2) 歴史公園管理業務

以下の施設の管理業務について、地域団体等に委託している。

- ・おおはし歴史公園 県指定有形文化財（建造物）である石浦大橋を含む公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・御塚・権現塚史跡の広場 国指定史跡である御塚古墳、権現塚古墳と公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃
- ・大塚古墳歴史公園 国指定史跡である田主丸大塚古墳と歴史公園の日常管理・清掃、草刈り、公衆用トイレの清掃

3. 防犯・防災事業

(1) 文化財防火デー

文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的として、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めており、例年、久留米市でも関係機関とともに訓練を実施している。平成28年度の実施概要は次のとおりである。

日 時：平成29年1月22日（日）9時30分～10時30分

場 所：須佐能袁神社（久留米市草野町）

主 催：須佐能袁神社

参加者：須佐能袁神社 氏子総代、久留米広域消防本部善導寺消防署、消防分団、久留米市

(2) 防災施設設置及び管理事業

文化財を火災から守るための防災施設の保守点検等に関する補助金を交付している。

平成28年度は、次のとおり補助金を交付した。

- | | | | |
|------------------|----------|------------|--------|
| ・高良大社本殿他 | 重要有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 高良大社 |
| ・善導寺木造善導大師坐像他 | 重要有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 善導寺 |
| ・善導寺書院 | 重要有形文化財 | 小修理 | 善導寺 |
| ・専念寺木造阿弥陀如来立像 | 重要有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 専念寺 |
| ・無量寺木造阿弥陀如来立像 | 重要有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 無量寺 |
| ・国分寺地藏来迎図板碑 | 県指定有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 国分寺 |
| ・朝日寺木造神子栄尊坐像 | 県指定有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 朝日寺 |
| ・須佐能袁神社本殿、拝殿及び楼門 | 県指定有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 須佐能袁神社 |
| ・鹿毛家住宅 | 県指定有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 個人 |
| ・上野家住宅御成間 | 県指定有形文化財 | 防災設備保守点検事業 | 個人 |

この他、福岡県文化財保護課を通じて依頼があった文化財の防犯に関する注意喚起を行った。